

授業概要

心の働きを科学的に研究するために必要な、心理学の研究方法について講義する。具体的には、実験法・調査法・観察法・検査法・面接法等の研究方法について概説する。また、分析方法として、実証的なデータの質的・量的な統計解析方法、更に、研究を進めるにあたって論理的な見方や、研究倫理についても講義する。なお、本科目は心理学科の必修、卒業に必須の科目である。

授業計画

| | |
|--------|--------------------------------|
| 第 1 回 | オリエンテーション, 心理学における研究の基礎, 科学と実証 |
| 第 2 回 | 実験と観察, 実証の手引き |
| 第 3 回 | 独立変数の操作 |
| 第 4 回 | 従属変数の測定 |
| 第 5 回 | 剰余変数の統制 |
| 第 6 回 | 様々な実験法, 実験室実験, 現場実験と自然実験, 準実験 |
| 第 7 回 | 妥当性, 内観法の限界, 倫理的問題 |
| 第 8 回 | 調査法 |
| 第 9 回 | 観察法 |
| 第 10 回 | 検査法 |
| 第 11 回 | 面接法 |
| 第 12 回 | 研究の実施 |
| 第 13 回 | 結果の解釈 |
| 第 14 回 | 統計的分析 |
| 第 15 回 | 研究の進め方, 研究発表の方法, レポートの書き方 |
| 第 16 回 | 試験の実施 |

到達目標

心理学の研究の目的や意義について理解し、基本的な研究方法である、実験法・調査法・観察法・検査法・面接法や、データ分析の基本的な方法、レポートのまとめ方について理解する。

履修上の注意

スマートフォンや携帯電話、タブレット端末などはマナーモードにし、鞆の中にしまっておくこと。講義の最後に、受講していれば必ずわかる必須問題についての小テストを行う。

予習・復習

次回講義予定の内容について教科書をよく読んで予習をしておくこと。講義内で行われた小テストの復習は必ずしておくこと。

評価方法

定期試験 50%、受講態度 20%、講義内での小テスト 30%にて総合的に評価する。

テキスト

- ・教科書名：心理学研究法-心を見つめる科学のまなざし 補訂版
- ・著者名：高野陽太郎・岡 隆（編）
- ・出版社名：有斐閣アルマ
- ・出版年（ISBN）：2017年（978-4-641-22086-7）